

日本共産党東京都議会議員 (厚生委員)

藤田りょうこの都政報告



連絡先 藤田りょうこ事務所 大田区西蒲田6-34-7
☎ 3736-1494 fax 3735-4522

藤田りょうこ 検索

発行 日本共産党東京都議団 新宿区西新宿2-8-1 ☎ 5320-7270

東京都20年度 一般会計予算案

福祉・暮らしに 重大な問題点

1月24日、小池知事の任期最後の「2020年度東京都予算案」が発表されました。その内容には、都民の福祉・暮らしを守るべき予算案として、重大な問題点があります。(党都議団幹事長 談話より)

都立病院の独法化を計上

きわめて重大な問題は、すべての都立病院・公社病院について、独立行政法人の運営に移管するための6億円の予算を計上したことです。

独立行政法人化は、コスト削減などを目的に、

都が直接責任をもつ運営をやめて、より「民営化」に近い運営にきりかえるものです。全国各地の独立行政法人化された病院では、経営の効率化や採算性が強調され、病院の廃止や大幅な病床数削減、差額ベッド料の引き上げなど、公的に担う医療の後退、患者負担増につながっています。

小児や周産期、障害者

難病、災害医療など、不採算であっても都民に必要な医療を提供し、セーフティネットの役割を果たしている都立病院、公社病院は、都の役割を強化し拡充することこそ必要です。

長寿重視に逆行

また、特別養護老人ホームの整備費補助も、介護老人保健施設の整備費補助も、認知症高齢者グループホームや地域密着型サ―

ビスの整備予算も、のきなみ大幅減額となっています。知事は、「長寿」を重視した予算案だと言っていますが、実際の中身は違っています。

高すぎる保険料もそのまま

高齢者、非正規で働く人、小規模事業者などが加入する国民健康保険の保険料(税)は、毎年のように値上げされ、重すぎる負担に多くの都民が苦しんでいるにもかかわらず、予算案に新たな対策は、何らもりこまれていません。後期高齢者医療制度の保険料値上げも大問題になっていますが、負担軽減策はありません。

カシノ調査費1000万円

一方、1メートル1億円の外かく環状道路建設は推進、さらに東名高速以南にまで延ばす調査費や、2月から試験飛行を実施した都心上空超低空飛行の拡大につながる羽田空港機能強化の調査費

が計上されています。カシノ問題は一大汚職事件になるうとしているなかで、小池知事は、カ

暮らし・福祉充実に全力

日本共産党都議団の論戦・提案や、都民運動によって、来年度から私立高校の授業料は、年収910万円の世帯まで無償になります。私たちはさらに、入学金の無償化を求めていきます。児童福祉司や心理士の増員など重要な前進もありました。しかし東京都の予算規模は全会計で15兆4522億円におよび、スウェーデンの国家予算を超える

ジノ誘致の調査検討予算をひきつづき計上していきます。

ものであり、それに比べれば前進面は極めて不十分です。日本共産党都議団は、小池知事の予算案をきびしくチェックし、予算の組み替えをふくめ建設的な提案を行い、地方自治体本来の役割である都民の暮らし・福祉充実に東京都の巨大な財政力を生かすために、18議席の力を発揮して全力をつくすものです。

新型コロナウイルス対策 緊急申し入れ

日本共産党都議団は、「新型コロナウイルス感染症対策に関する緊急申し入れ」を、小池百合子知事あてに行いました。多羅尾光睦副知事が応対し、「申し入れにある



新型コロナウイルス感染症対策に関する緊急申し入れ=2月3日、都庁

ように感染拡大防止と感染者の適切な治療は第一義に重要課題で、全力を尽くす。正しい情報提供と相談体制も充実させたい。」と答えました。

共産党都議団 新役員を発表 (敬称略、再以外は新任)

団長	大山とも子	政策調査委員長代理	里吉ゆみ
幹事長	和泉なおみ	政策調査副委員長	尾崎あや子(再)
副幹事長	あげ上三和子	政策調査副委員長	とや英津子
政策調査委員長	白石たみお	政策調査副委員長	池川友一

党都議団、予算要望を提出

藤田 都議 小池知事に住民の困難に寄り添う支援を求める

12月19日共産党都議団は小池知事に対して、約2600



水道料金減免を行っている全国の自治体を知事に示す藤田りょうこ都議=12月19日

項目の都民要求を載せた予算要望書を提出しました。

私からは、昨年の台風により田園調布で浸水被害にあった方の声を届け、改めて水道料金の減免を求めました。

全国では、例えば福島県郡山市では、台風19号で「平壤」以上の罹災証明が発行された一般住宅と事務所に対して、10月の水道料金を全額免除しています。支払い済みでも、返金対応しています。宇都宮市、仙台市、佐賀市などでは、通常の使用量より上回った分について減免していました。浸水被害を受けた世帯に対し

藤田都議、共産党国会議員団と

院長談 神経病院は「どうしても必要な病院」

昨年9月に厚生労働省が「特に再編・統合について議論が必要な病院」リストを公表したことを受け、都立病院で唯一リストに載った神経病院を、12月23日に改めて視察しました。

神経病院では難病の診断を行ったのち、在宅療養できる環境を整えるために、100

神経病院を視察

名程度の患者さんの往診を行いながら、クリニックや訪問看護ソリューションと連携をとっています。

院長は、「急性期病棟を減らすことと、行政的医療は結び付けてはならない」とし、神経病院について「どうしても必要な病院なんです」と話しました。都立直営を堅持し

て水道料金の減免を行うことはもはや標準対応であり、知

75歳以上の 保険料値上げは命に直結

共産党都議団は1月27日、小池知事あてに後期高齢者医療保険料抑制のために、財政安定化基金の活用を求める申し入れを行いました。

現在の保険料は一人当たり年9万7127円ですが、2020年、2021年度の保険料は3926円の値上げとなり、年10万1053円と

事にも被災した住民の困難に寄り添った支援を求めました。

なります。年金支給額が減り、消費税増税などで生活が厳しい中、保険料の値上げは命に直結します。2017年度までは東京都の財政安定化基金を活用して値上げを抑えていましたが、来年度には活用されていません。

共産党都議団は、現在約212億円積み立てられている

東京都の財政安定化基金を活用し、値上げを回避するよう、強く求めました。



75歳以上高齢者の保険料負担抑制を求める申し入れ=1月27日



共産党国会議員団と神経病院を視察する藤田都議=12月23日

「都民の命のとりで」である都立病院を守るために全力を挙げます。

障害者に寄りそい

京急蒲田駅ホームの安全を



京急蒲田駅5番線の固定式ホーム柵を視察する藤田都議=1月31日

昨年、京急蒲田駅には可動式ホームドアが設置されましたが、普通電車が停車する2、5番線については、固定式ホーム柵になっています。

ら転落し、なくなる事故が相次いでいますが、固定式ホーム柵では車両のドアにあたる部分に柵がないため安全対策にはなりません。また、視覚障害者団体の方は「ホームドアになっていると思いきや安心して歩くと、2、5番線になって突然切れ目が生じるのはかえって危険」と話しています。国や東京都は可動式ホームドアに対して補助金を出しており、来年度は拡充する予定ですが、視覚障害者の声にもとづいた安全対策が講じられる必要があります。

藤田りょうこ

●1974年8月11日生 東京都大田区出身 ●1996年東京都立医療技術短期大学看護学科卒 20年間、看護師として従事 ●2017年、東京都議会議員選挙に初当選 都議会厚生委員 ●池上在住

都政へのご意見、ご要望をお寄せください